

知床自然教室 40 年の歴史



キャンプ道具

野菜を切るのはベニヤ板からまな板にな り、湯を沸かすのはトマト缶からやかんにな りました。飲み水についてはこれまで沢水を



浄水器で沢水をろ過

食べ物を蓋付きバケ ツに入れて高い位置



4

変わったこと



クマとのつきあい方

野外キャンプが始まった1980年代中頃 は、ヒグマが人前に出てくることはめったに なかったこともあり、いわゆる普通のキャンプ スタイルでした。

しかし、1990年代になると人を避けずに 行動するクマが目につくようになり、北米の 国立公園並みのクマ対策を実践するように なりました。テントとかまどはそれぞれ完全に 場所を離し、食料の保管も車の中やクマの 手が届かないようにフードハンガーに吊るす など、クマを誘引する食料を完全に分離する スタイルへ。2008年からは、テントサイトを電 気柵で囲うようになりました。クマに出くわさ ないために、どこに行くにもホイホイの掛け 声は必須。おそらくここまでしているキャンプ は国内では他にないでしょう。



松林 良太 自然復元担当。誰より も森づくりと自然教室 に携わってきた。二児

団スタッフであ

ŋ

自然教室の卒業生で た。今回は、知床財

変わら

な

61

もある二人の体験を通して、これまで 40年間の歩みを振り返ります。

年携わってきまし

務を担う中で自然教室の運営にも長

私たち知床財団は当運動の現地業



片山 綾 インフォメーション担 当。自然教室で培った 思いや知識を発信して いる。一児の母。



います。これまでに自然教室に参加し

なります。

た子どもたちは

のべ1

9

0

0

人にも

の自然やこの運動を次の世代の子ど

もたちへ伝えていく

ために今も続いて

後に初開催さ

れた自然教室は、知床

ル運動が始まった1

9 0

7 7

。 3

年

迎えます。しれとこ1

0平方メ

この夏、

知

床自然教室は40

回目を

参加する子どもたち

自然が好きで目を輝かせる子どももいれ ます。それは、いつの時代も変わりません。し かし、どんな子どもも数日もすれば自然教室 ていきます。子どもたちの適応する力は、今も 昔も変わっていないのかもしれません。



第5回から始まった野外キャンプは今も続 いています。電気も水道もない「ポンホロ」を 舞台に、知床の自然の中で子どもたちは、テ ントを立て、かまどを作り、水を汲む、そんな 生活の全てを自分たちの手でやり遂げます。 自然の中で生き抜く術は、いつの時代も変

1984

第5回

ば、虫も触れず、ホームシックになる子どもい の生活に慣れ、日常として過ごすようになっ

わることはありません。

1981

第2回

 $\sqrt{}$

2019 第40回

自然教室40周年「知床への回帰」開催 (10月) 松林が隊長を退き、 後任へ引継

2017 第38回

00平方メ

運動40周

第30回

自然教室30周年「知床への回帰」開催 (9月)

2009









2008

第29回

を囲う電気柵を導入





松林が自然

の

隊

長とな 運動30周

0

平方メ 然教室



2007

第28回





界遺産登録)



場で自然教室に携わり

·始める。

(知床が世



松林

30

が知床財団に就職。

運営す

2005

第26回







場で自然教室に携わり始める。 片山(23)が知床財団に就職:

2004

第25回



松林 (28)

)がボランティーアから知床財団・

して自然教室に参加

2003

第24回



知床財団が知床自然教室の運営主体となる

2002

第23回











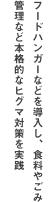






1997

第18回



1993

第14回

 $\sqrt{}$



片山(小5) 初参加!

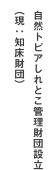
1992

第13回



1989

第10回



1988

第9回



1986

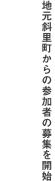
第6回

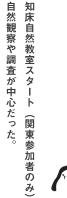


松林 (小4) 初参加!



体験が以降の自然教室の基礎とな 野外キャンプを開始。 テント泊などの自然





1980

第 1 回

 ∇



| SEEDS | 7 |

1977

松林良太 に 聞いてみま

ビックリしたことは? 初めて参加した時、

全てが驚きの連続でした。 掘った穴が便所であることなど 風呂に入れないことや地面に 集団に加わるのも初めての経験。 を離れたこともなく、見知らぬ とって、そもそも10日間も親元 また、テントで寝たこともなく、 全てです。小学4年生の自分に

参加して変わりましたか?

年間がたいくつで長く感じてい ら帰ってみると、街の生活がぬる たが、何かの達成感と自信が芽 く感じ、次の自然教室までの 野外生活はたった数日間でし 自然教室か

る自分を

結局親の手の中に今もいる気分 んだのが参加のきっ かけなので、

通の話ができることはすごいこ 然教室を通して世代を超えて共 れるきっかけの体験 も知床を思 た。自分の

松林が選ぶ、これぞ知床自然教室

・時代を超えて知床で体験す

あなたにとって なので、これからも次世代につな 自然教室とは?

第39回知床自然教室(2018)

片山綾 に聞いてみました

す。中学2年生の時には「知床財 の人になるんだ!」と ましたか

器も洗えないことです。食器は

ライスの日にはペー

パンで拭いて食

ーで拭うだけ。カ

飲み水は全て川から汲み、食

血はクマを誘引する可能性があ には女子だけが集められて「月経 べろと言われました。また、初日

るから使用済みのナプキンとト

- は毎日回収する

が親の立場になった時、 になっています。そして子供たち 環境教育の成功例ですね」と言っ ていただいたことがありました。 ように伝えることができるよ 床の森で一週間生活するとい ます。以前、「知床自然教室は、 いが集まる場所だと思 倒的な原体験の場

のつきあい方も変わってきま

います。 から先も続けていきたいと思 床。を残せる自然教室をこれ て知床で働いているように、一 継いだ松林や片山が今こうし 人の子ども達の中に、知

の自然教室スピリッツを受け 中での生き方を学びます。そ 3 雨

大雨に当たることももちろんあります。ただ し、今のところどんな大雨でも野外キャンプ を撤退したことはありません。



お風呂は野外最終日だけ

2 歌

「いただきます」「ごちそうさま」の歌から「知 床旅情」まで、自然教室中は知床の森の中に 子どもたちの歌声が響き渡ります。



BEST

1 班·仲間

班の仲間と過ごす野外生活の数日間は自然教 室を語る上では欠かせません。この体験こそ が自然教室です。

5 別れ

同じ仲間で過ごす自然教室は一度きり。閉校式 では、あちらこちらで涙が見えます。そんな出会 いと別れを40年繰り返してきました。



4 バーベキュー・キャンプファイヤー

最後の締めは、ウトロに戻ってからのバーベ キューとキャンプファイヤー。これが終わると 自然教室もあと1日です。

知床自然教室40周年記念イベント 知床への回帰

知識もここで学んだと思ってい

自然の中に入っていく際の心構や

の大変さや皆と協力することの

と同時に、自分の力で暮らすこと

普段の生活の便利さに気づく

10/18(金) ~21 (月)



7月の支部ワークキャンフ でツリーデッキ 1 基目作り ました!

これから自然教室に参加する子どもたちのた めに、自然教室卒業生の手でポンホロにツリ ーデッキを作りましょう!

- ■参加費:~15,000円 ※参加日数により金額が異なります。
- ■対象:自然教室OB/OG 100平米運動関係者
- ■定員:50名
- ■締切:8/30



知床アウトドアフィルムフェス2019

第23回 しれとこ森の集い

- ■2019年10月20日(日)
- **■**9:00~11:30 ■知床自然センター集合
- ■参加費無料
- ※無料送迎バスの運行あり

上記イベントの詳細は、同封のチラシをご覧ください!